



# ゆづりは

## 堺市立図書館だより

第10巻 第4号 (通巻38号)  
 発行日 平成28年3月10日  
 編集・発行 堺市立中央図書館  
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1  
 電話 072(244)3811  
 Fax 072(244)3321

### 堺市の図書館は6月で 100歳になります！

堺市の図書館は、大正5(1916)年に府内で初めての市立図書館として開館し、今年6月に100周年を迎えます。堺市立図書館の前身である「私立堺図書館」の起源は、堺高等小学校を卒業したばかりの青年達の努力によって、明治37(1904)年に開設された「桜友文庫」にあります。戦時中の困難な中でも、図書館では市民による読書会が続けられ、昭和20(1945)年7月の堺大空襲後も、焼け残った書庫の前にバラックを建て、いち早くサービスを開始しました。

本市では、図書館が創立時から、市民やボランティアの活動に支えられてきた100年の歴史を振り返る「堺市図書館100年記念事業」を実施しています。

その最初の取組として、2月には「私のおすすめの一冊」の展示を市内の各図書館で実施しました。これは市民のみならず、これまで図書館で借りた本の中から、「おすすめの一冊」とご推薦の一言を募集したものです。全部で280件を超えるご応募をいただきました。熱いコメントありがとうございました。現在、図書館ホームページに、みなさんの「おすすめの一冊」本のリストとコメントを掲載しています。



戦前の堺市立図書館(宿院町東)

#### 各館の「私のおすすめの一冊」展示の様子



↑ 東図書館

↙ 東百舌鳥分館

↑ 美原図書館

3月23日(水)からは、「100年のベストセラー図書展」を中央図書館のロビーで開催します。各年に起きた社会の出来事なども振り返りながら、過去100年に国内でよく読まれた本を展示します。4月16日(土)まで。

6月15日は、堺市立図書館100歳の誕生日。これにあわせて、本市図書館100年の歴史を振り返るパネル展示や、記念講演会を開催する予定です。くわしくは『広報さかい』等でお知らせをします。ご期待ください。

#### 目次

堺市の図書館は6月で100歳になります！	…1
シリーズ堺の〇〇 堺のお台場	…2
図書館広告掲載事業	…2
堺かるた いろはの「あ」	…3
この本で解決！ ～調べ学習に役立つ資料など～	…3
司書のイチ押し！ 『若沖』	…4
堺市立図書館電話番号一覧	…4

# ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに  
ゆづりゆづりて 譲り葉の  
ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。



シリーズ 堺の〇〇

堺のお台場

台場と聞くとまず東京のお台場という地名を思い浮かべる方が多いと思いますが、堺にもお台場があったことをご存知ですか。

「台場」すなわち「砲台」は、江戸時代に築造された大砲を据える要塞のことです。嘉永 6 (1853) 年ペリーの浦賀来航に衝撃を受け、海防策強化の必要性を認識した幕府は、急遽、江戸湾品川沖に台場を構築したほか、全国に多くの台場を構築していきました。

安政元 (1854) 年には、ロシアのプチャーチン提督のディアナ号が入港し、天保山沖に停泊しました。このため幕府は急ぎ、大阪湾岸各所に 20 ヶ所の台場を築かせ、堺浦では堺港口を両側から挟む形で北と南に台場が造られました。

堺の北台場は、翌年の安政 2 (1855) 年に早くも完成しています。南台場はそれから遅れること 3 年、安政 5 (1858) 年ごろに竣工し、2 度の改築を経て、慶応 2 (1866) 年に完成しました。当初は海岸線に並行して直線でしたが、文久 3 (1863) 年の改築で、外に向かって突き出した角の部分を作ることによって、大砲による攻撃の死角をなくすよう考案されたという、**桔梗型**に改造されました。同じ桔梗型でつくられた西洋式城郭としては、北海道函館市に元治元 (1864) 年に完成した「**五稜郭**」が有名です。

中央図書館所蔵の「堺浦海岸砲台築造図絵」

(写) 元治元年 (1864) では、南台場の海に向かった砲台や、石垣を備えた弾薬庫、兵舎と思われる建物などが確認できます。

急造成であった北台場は明治 4 (1871) 年の暴風雨でほとんどが崩壊しましたが、陸軍省の所管にあった南台場は、地元に移管されて明治 12 (1879) 年に大浜公園となりました。今も一部の石垣や堀が遺される貴重な城郭遺跡です。

中央図書館 1 階ロビーでは 3 月 5 日から 21 日まで、「魅力発見！むかしの堺港と大浜」と題し、郷土資料展を行っています。魅力ある歴史的トピックが多くある大浜を再発見するため、ぜひご来館ください。

「堺浦海岸砲台築造図絵(写) 元治元年 (1864)」→



参考文献

- 『堺市史』第 3 巻 堺市役所/編纂 堺市役所 1930
- 『大阪春秋』65 号 新風書房 1991 (「蓮池」-堺南砲台場外濠遺構-)
- 『大阪春秋』95 号 新風書房 1999 (堺・大浜公園の史跡(南台場)の保存について)

図書館広告掲載事業

図書館では、平成 24 年度から、新たな財源を確保し、図書館サービスの向上を図ることを目的として広告掲載事業を実施しています。

現在行っている事業は、「堺市立図書館雑誌カバー等広告掲載事業」、「堺市移動図書館広告掲載事業」で、移動図書館(市内 26 か所巡回)や雑誌カバー等へ広告を掲載する事業者を募集し、広告料の収益をあげています。



移動図書館



図書館の施設利用者は、市内 12 館合計で、年間のべ約 231 万人(平成 26 年度)で、身近な公共施設として、多くの利用者にご利用いただいております。会社やお店のサービス・商品をお伝えいただく、身近な宣伝媒体としてご活用いただけます。

< 広告事業者 募集中! >

堺市立図書館雑誌カバー等広告掲載事業



広告イメージ

西図書館

申込み資格	市内に事務所、店舗等を有する個人、法人で引き続き 1 年以上営業を行っており、その業務内容が明確な者
対象雑誌	図書館が作成した「雑誌リスト」の中から、広告掲載を希望する雑誌を選定
広告場所	雑誌最新号のカバーの表紙、裏面、雑誌棚の扉(扉がない雑誌棚の場合は背面)の計 3 か所
広告期間	平成 29 年 3 月 31 日まで(更新可)
広告料	1 誌(館ごと) 1,000 円/月(消費税別)

\* 詳しくは堺市 HP をご覧ください

堺かるた - いろはの「あ」

あきいえ ひそう せんし  
「顕家の 悲壮な戦死 石津川」

平安・鎌倉期をつうじて、政治権力の中核にあった村上源氏の流れをくむ北畠氏は、鎌倉時代から、居住地であった京都の北畠の地にちなみ、北畠を家名とした一族です。南北朝時代・室町から戦国時代末期までは、伊勢国司としてまた、戦国大名として、二百数十年の長期にわたり存続しました。

その北畠一族の中でも、北畠親房（きたばたけちかふさ）とその子、顕家（あきいえ）は、陸奥経営や、延元元（建武3、1336）年、後醍醐天皇の吉野遷幸による南北朝分立以来、南朝方の支柱として活躍したことで有名で、『太平記』や『増鏡』にもその活躍を見ることができます。

延元3（暦応元、1338）年、顕家は、北朝方の総大将、高師直（こうのもろなお）率いる足利軍と堺浦、石津で激しく戦い、21歳という若さで壮烈な戦死をとげました。死の一週間前に後醍醐天皇



にあてて書かれた「顕家上奏文」には、国を治めることへの熱い思いがあふれています。

顕家の戦死の地については、大阪市阿倍野とする説もあります。大阪市阿倍野区北畠の町名は、顕家戦没ゆかりの地として顕彰し、北畠の名を冠したことが由来といわれています。

参考文献

- 『日本古代中世人名辞典』平野邦雄/編 吉川弘文館 2006
- 『日本古典文学大系 87 神皇正統記』岩波書店 1977
- 『花将軍 北畠顕家』横山高治/著 新人物往来社 1990
- 『伊勢北畠一族』加地宏江/著 新人物往来社 1994

この本で解決！

～調べ学習に役立つ資料など～

図書館には、たくさん子どもたちが調べ物をするため、来館されます。

「〇〇県の産業」「〇〇という国について」「台風の発生数」「スポーツの世界記録や日本記録」「日本と外国の人の行き来」などを調べに来てくださるのですが、同じ学年であれば、どの学校も同じ時期に同じような勉強をしているので、時にはそのテーマの本がすっかり貸し出されていることがあります。

そんな時には、いったいどうすればいいのでしょうか。今回は、そんな時に司書がおすすめしている資料や調べ方をご紹介します。

前年の世界の国々や国内の主な時事ニュースとその解説、小学校3年生から中学3年生までの社会科の授業で役立つような統計が、写真や地図、グラフを用いてわかりやすくまとめられている資料が、『朝日ジュニア学習年鑑』(朝日新聞出版)です。この本は、年刊で出版されているので、最新の出来事が取り上げられているほか、最新の統計数字とその出所も掲載されています。

同様に、国際情勢から国内の政治、経済、科学、スポーツなど幅広い分野の、前年の出来事や時事用語について、こどもにもわかりやすくまとめた『現代用語の基礎知識学習版 子どもはもちろん大人にも』(自由国民社)が、年刊の資料として

あります。

ほかにも、『日本のすがた』(矢野恒太記念会)は、表やグラフでみる社会科資料集で、毎年改訂版が出版され最新データに基づき編集されています。これらの子どもの本には、難解なことをわかりやすく伝える工夫が詰まっていますので、おとなにとっての入門書としても使っただけです。

本以外にも、インターネットで信頼できるサイトを調べるのもひとつの方法です。

「探してみよう統計データ」(総務省統計局)  
<http://www.stat.go.jp/naruhodo/c1s1.htm>

「キッズ外務省」(外務省)  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/>

インターネットで調べたときは、ホームページの名前、作成者、URL(ページアドレス)、調べた日付を控えておくことをおすすめします。



『朝日ジュニア学習年鑑 2015』



『現代用語の基礎知識/学習版 2015→2016 子どもはもちろん大人にも』



『日本のすがた2015 表とグラフでみる社会科資料集』

# 司書のイチ押し!

## 「若冲」(澤田瞳子/著 文藝春秋 2015)

伊藤若冲(1716~1800年)は江戸時代に活躍した京絵師です。彼の没後200年を記念した京都国立博物館「没後200年 若冲」展(2000年)の開催をきっかけに、若冲ブームといわれるほど彼の人気は高まり、展覧会の開催や関連書籍の出版等が続いています。

生誕300年を迎える2016年は、日本各地の博物館や美術館で若冲の展覧会の開催が予定されており、雑誌やテレビ番組などでも多く取り上げられ、紹介されています。



『若冲』

今回ご紹介する『若冲』では、独自の伊藤若冲像と、彼が生きた18世紀後半の京都の世相、池大雅、与謝無村、円山応挙等の同時代の京都在住の画人たちとの交流が描かれています。

著者は丹念に史料にあたり、歴史上の史実をできるだけ正確に把握しながら、作品全体の構想を練られたようで、独創性あふれる個性的な作品が競い合うように生み出された、活気に満ちたこの時代の、京都の絵画界の様子がよくわかります。

また、著者はある新聞紙上で、史実との兼ね合いに関して「ある事実について、例えば無いことを証明するのが難しい、ならばそのことに関する嘘は小説ではありなのではと考えた」という意味のことを述べられていました。この作品でも、若冲の人物像や作品中の他の登場人

物等について、著者は自由に想像を膨らませ、巧みな構想と文章表現でフィクションを作り上げていて、歴史に忠実な部分と独自の空想世界が織り交ぜられた魅力を楽しめます。

さらに読後、実際に若冲の作品を鑑賞する機会がありましたが、この作品を思い返し、この絵の背景にあったかもしれないドラマをあれこれと想像しながら、より興味深く鑑賞でき、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

みなさまも、展覧会などに行き作品を鑑賞する前に、その画家について書かれた小説を探して読んだり、画集などで予備知識を得てみてはいかがでしょうか。

図書館の蔵書には、画家を主人公にした小説はもちろん、画集も豊富にありますので、きっとお探しの資料をご提供できると思います。(N)



『美のワンダーランド 十五人の京絵師』

《若冲を知る参考資料》

『美のワンダーランド 十五人の京絵師』

九州国立博物館/監修・文 青幻舎 2012

《日本の画家を主人公とした、その他の小説》

『乾山晩愁』 葉室麟/著 新人物往来社 2005

『喜多川歌麿女絵草紙』

藤沢周平/著 文春文庫 2012

『北斎と応為』 上・下

キャサリン・ゴヴィエ/著 彩流社 2014

※その他にも多くの資料があります。

### 堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
中央図書館	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
くすのき号	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター 船松人権歴史館	
堺市駅前分館	222-0140	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
中図書館	270-8140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
東百舌鳥分館	234-9600	美木多分館	296-2111		

ホームページ URL <http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>